

えひめ地域づくりアワード・ユース2020

(公財) えひめ地域政策研究センター

研究員

兵頭

一輝

次の世代の地域づくりを担う若い世代の活動を支援し、地域活性化につなげることを目的に(公財)えひめ地域政策研究センターが「えひめ地域づくり研究会」との共催で創設した、高校生等の地域づくりに関する活動を表彰する『えひめ地域づくりアワード・ユース2020』を開催しました。



森田浩治センター理事長

第4回目となる今年は、コロナ禍にもかかわらず県内の高等学校21校27団体(総勢306人)から応募がありました。12月中旬に書類による第一次審査を行い、令和3年2月13日テクノプラザ愛媛本館1階テクノホールにおいて、最終審査に進出した5団体による審査会と表彰式を行いました。どの高校の取り組みも地域への愛着と誇りにあふれたすばらしいものでした。審査の結果は次のとおりです。

最優秀賞

- 愛媛県立三崎高等学校「せんたん部」

優秀賞

- 愛媛県立長浜高等学校「水族館部」

- 愛媛県立南宇和高等学校「地域振興研究部」

審査員特別賞

- 愛媛県立伊予農業高等学校「生活科学科食物班」
- 愛媛県立北宇和高等学校「地方創生・広報委員会」

特別賞

- 愛媛県立宇和島南中等教育学校「インターアクト部」
- 愛媛県立大洲高等学校「商業科」
- 愛媛県立大洲農業高等学校「食品デザイン科食物班」
- 愛媛県立丹原高等学校「園芸科学科野菜班」
- 愛媛県立松山商業高等学校「地域ビジネス科3年生」

「えひめ地域づくりアワード・ユース」には、愛媛県、愛媛県教育委員会、報道関係各社のご後援をいただきました。また、主催者による表彰に加え、高校生の地域づくり活動にご理解をいただいた企業・団体様から副賞として、今後の活動の糧となる貴重な商品等のご提供を賜りました。ありがとうございました。



活動発表の様子



トロフィーと副賞(企業協賛品等)



優秀賞
愛媛県立南宇和高等学校
「地域振興研究部」



優秀賞
愛媛県立長浜高等学校
「水族館部」



最優秀賞
愛媛県立三崎高等学校
「せんたん部」

私たちのバトン 「最SENTANで最SENTANの挑戦」

愛媛県立三崎高等学校
「せんたん部」

活動のきっかけ

都市部の高校生にとっては、自分の学校に何人の中学生が入学を希望しているかなんて興味のないことかもしれない。しかし、私たちにとってこの数字は特別な意味を持つ。3年連続で入学者数が40名以下となった場合、分校化の対象となる。私たち「せんたん部」はふるさとを守るため、四国最西端の町から最先端の活動を行った。

「#allwecando」今、私たちにできること

新型コロナウイルス感染症の流行の中、私たちは、「今、自分たちにできることは何なのか」ということを考え、感染症予防のためのアクションを実践した動画をリモートで撮影し、本校のSNSで「#allwecando」のハッシュタグを付けて発信した。その動画をきっかけに、県内の小規模校から、県外の大規模校、そして、大学生までもが、それぞれの「今できること」を撮影した動画を「#allwecando」のハッシュタグを付けて発信をしてくれた。

オンライン授業の開催

ガイアックス主催の「親子オンライン体験フェス」と、KAZOO主催の「SDGsを学ぼう！おうちdeブイアートコンテスト」に参加した。「オンラインフェス」は海洋ごみ問題と漂着物アート体験を題材としたコーナーを企画し、全国の子どもたちに向けて実際に漂着物のある海岸から授業を行った。「ブイアートコンテスト」は、全国各地の海岸に漂着したプラスチックブイを題材とし、海の環境を考えながら、おうちでブイアートに挑戦するという趣旨でイベントが開催された。私たちは、SDGsと海洋ゴミの関係性を題材とした授業を行った。



親子オンライン体験フェス

みさこうCafé

佐田岬半島の魅力である「海の美しさ」を多くの人に伝えようと、地域の新たなコミュニティを作りたいと考え、地元レストランやパン屋、珈琲焙煎所と協働して、高校生カフェ「みさこうCafé」をオープンさせた。高校生が海水から塩を作り、その塩

を活用したスイーツを提供することをコンセプトとして定めた。また、営業は月に1回とし、毎回地域の特産物を活用した商品や他校とコラボレーションした特別メニューをレギュラーメニューと合わせて提供している。

今後の展望

私たちの活動はまだ小さな始まりに過ぎないかもしれない。しかし、地域の方が「テレビや新聞見たよ」と喜んでくれる。小学生たちが、楽しそうにイベントに参加してくれる。だから、私たちはその先に、私たちのふるさととの明るい未来があると信じている。5年前にせんたん部を立ち上げ、私たちにバトンをつないでくれた先輩方、私たちの背中を押してくれる先生方、そして、いつも温かい地域の方々、すべての方々への感謝を胸に、ふるさとのバトンは自分たちだという気持ちを持ってこれからも活動していきたい。



せんたん部集合写真



みさこうCafe

日本初の高校内水族館「長高水族館」プロジェクト〜コロナ禍での挑戦〜

環境教育と町の知名度向上で、地域に貢献

愛媛県立長浜高等学校
「水族館部」

本校の位置する大洲市長浜は、四国初の水族館が誕生した町です。長浜水族館は町のシンボルとして愛されていました。1986年に老朽化のため惜しまれながら閉館しました。それから14年後、長浜水族館の復活にうなげたいと、高校生の手で日本初の高校内水族館が誕生しました。これが私たちの長高水族館です。地元の肱川と伊予灘、宇和海、沖縄などの生物、約150種2000点を飼育し、毎月第三土曜日の11:00〜15:00に一般公開しています。開館からの22年間で、延べ11万6千人の来館者に無料で学びの場を提供しました。この取組みに対する注目度は高く、漫画「熱帯魚は雪に焦がれる」(KADOKAWA)、映画「赤い橋のある町で」、小説「長浜高校水族館部！」(講談社)の題材にもなっています。さらに、高校の英語の教科書(第一学習社コミュニケーション英語Ⅲ)にも5ページに渡って掲載されています。



一般公開日には部員が解説

新型コロナウイルス感染症への対応

現在はコロナ禍に対応して一般公開はWEB予約制とし、感染状況に応じて来館者のお住まいの地域を限定しています。また、来館者数は1時間当たり40〜60人に制限し、色の異なるリストバンドで4グループに分け、密を回避してご覧いただけます。感染対策もできる限りのことをしており、入口での検温と手指消毒、施設内の定期的な消毒、密を避ける呼びかけなどを行っています。感染拡大により公開ができなかった月には、InstagramやFacebookでライブ配信し、ご自宅で生き物の興味深い姿を見られるようにしています。



リストバンドでグループ分け

この春、クラゲ予防クリームの新製品を発売予定

長年に渡る研究の結果、水族館部はカクレクマノミが高濃度のマグネシウムイオンを身にまとうことで、イソギンチャクに刺されないことを明らかにしました。さらに、この成果をクラゲに応用して(株)ABSと

クラゲ予防クリームの共同開発を行い、2019年にJELLYS GUARDの商品名で発売しました。その後研究をさらに進め、日焼け止め効果をプラスした新製品JELLYS GUARD Sunscreenを今春発売します。JELLYS GUARDのコンセプトは、「ヒトと海の共生」です。危険な海洋生物を駆除するのではなく、危険を緩和し共存を目指します。現状では国内での流通が中心ですが、クラゲによる被害が深刻なオーストラリアなどへ展開して、世界中で海と親しむためのアイテムとして展開していく予定です。そして将来的には、その売り上げを長浜水族館の復活にうなげたいと考えています。



2020年度水族館部員

JELLYS GUARD



JELLYS GUARD (右が新作)

世界に届け！愛南ゴールド
～東京オリパラから
国際認証愛南ゴールド真鯛へ～

愛媛県立南宇和高等学校
「地域振興研究部」

活動の目的

愛南ゴールド（河内晩柑）は、愛媛県の最南端にある愛南町が生産量日本一を誇る農産物です。しかし、現在、農家数の減少による産業の衰退が課題となっています。

そこで、わたしたちは、愛南ゴールドの栽培・加工・販売などのPR活動を行い、ふるさとを元気にしていきたいと思ひ活動しています。



愛南ゴールド

す。さらに、東京オリンピック・パラリンピック選手村への食材提供も目標にしています。

医療従事者への応援

頑張つて働いていらっしゃる県内の医療従事者の皆様に応援したいと思い、愛南町役場と協力し、県内の県立病院に愛南ゴールドジュースを90本送りました。医療従事者の皆様からは、感謝の手紙をいただきました。

地元企業との商品開発

愛南町にある80年もの歴史がある老舗の梶原製菓様とコラボし、本校自慢の愛南ゴールドマーマレードを使った愛南ゴールド大福を完成させました。



愛南ゴールド大福

生クリームの甘さとマーマレードの酸味が絶妙なものになっています。さらに、地元水産加工会社であるハマスイ様とコラボし、国際認証愛南ゴールド真鯛を完成させました。本校農学科が愛南ゴールドで取得しているグローバルGAP認証の果実と、ハマスイ様が真鯛で取得しているMEL認証

がコラボした商品です。ハマスイ様が取得している特許技術である脱血方法で、真鯛の血を抜き、その中に愛南ゴールドの果汁を注入するというもので、魚臭さがなく、愛南ゴールドの味と真鯛の味の両方が感じられるものになっています。

今後の展望

昨年は、新型コロナウイルスの影響で東京オリンピック・パラリンピックが延期になりましたが、今年こそは、開催され、愛南ゴールドを世界の方々に食べていただきたいと思ひます。さらに、今年、完成した国際認証愛南ゴールド真鯛が、日本全国へ、更には世界に広がっていくように活動していきます。



国際認証愛南ゴールド真鯛



集合写真